

## 第1回市民体育大会あり方検討委員会 協議概要

日 時：令和2年7月30日（木） 19時～20時30分  
場 所：三原リージョンプラザ南館 会議室  
出席者：地区5名（須波，本郷東，糸崎・木原，鷺浦，中之町），スポーツ推進委員3名  
事務局：スポーツ振興課長，スポーツ振興係長，担当者

スポーツ振興課長の挨拶及び出席者の自己紹介の後，協議へ入った。

### 協議概要

- 1 市民体育大会の現状と課題について  
2 市民体育大会の目指す方向性について } **資料**…市民体育大会のあり方の検討について

- ・選手集め…特に子どもが厳しい→潜在的に出たい人へのアプローチが必要。
- ・競技内容…次のバランスを考える。  
勝 負： 上位を狙う ⇔ 楽しむ  
ル ー ル： 厳しい ⇔ 優しい  
※年齢の枠は緩やかにする。
- ・種目…フィールド競技+トラック競技+三原市独自のユニークな競技を組み合わせる。

### <主な意見>

#### (1) 選手集めについて

##### ア 課題

- ・子ども，若い人（特に20代女性）を集めるのが難しい。
- ・小・中学生はスポーツクラブに入っている子が多いため，市民大会当日は練習や試合があり，参加が難しい。
- ・20歳前後は普段スポーツをしていないため，なかなか出してもらえない。

##### イ 選手の集め方

- ・地区の役員になったら，早めに選手へ声を掛けている。
- ・子どもの家に直接お願いに行っている。
- ・フィールド競技は，地区内の持ち回りにより選手を選考している。
- ・地区の体育協会が選手を集めている。
- ・PTAと連携し，選手集めに協力してもらっている。
- ・町内の体育部とスポーツ推進委員が連携して選手を集めている。

#### (2) 種目について

##### ア 全般

- ・総合1位になれなくても，種目毎で1番になるのが励みになっている。
- ・練習をあまりしなくても出ることができる種目を増やした方が良い。
- ・今の種目の競技内容を変えるだけでも選手は集めやすくなる。
- ・全く新しい種目は地区で新たに備品購入が必要。

- ・勝ち負けの種目が多い気がする。レクリエーション的な種目も必要。
- ・「失格」の基準が厳しいと思う。ルールの見直しを検討してみてもどうか。

#### イ フィールド競技

- ・トラック競技は走れる人が減っているのので、フィールド競技を増やした方が良い。
- ・ボーリング競走はなかなかピンが倒れない。ピンまでの距離を縮めてはどうか。
- ・玉入れの高さを低くするのも良い。
- ・昔の運動会であった、一輪車の手押しやビンに水を入れる競技も良いと思う。

#### ウ トラック競技

- ・一人で縄跳びをしながらトラックを周るのもおもしろい。
- ・何年か前の地区代表者会議で、「観客からはフィールド競技は様子が分かりにくいので、トラック競技を増やしてほしい」との声があった。
- ・フィールド競技をトラックでやると、順位が分かりやすく、見ていて楽しい。

#### エ 総合リレー

- ・年齢分けの間隔を広げる方が良い（例：10歳間隔から15歳間隔）
- ・20歳以下は上の年齢の区分に出場できない。中学生も上の区分に出場できるようにした方が良い。
- ・出場人数を減らす方法もある。
- ・総合リレーが一番盛り上がるので、残した方が良い。

#### (3) その他

- ・大会不参加や人口減の地区が参加できるような大会に変えていく必要がある。
- ・点数表が1箇所の掲示のみで確認しにくい。大会途中で順位を放送するのも良い。

### 3 委員会の今後の進め方について 資料…今後の進め方について

次回委員会は9月上旬に開催する。

次回までに、本委員会の未出席地域へアンケートを送り、今後の大会についての意見を集約する。

以上、20時30分終了